

六甲高山植物園で世界の高山植物に出会おう

担当 2班

ケーブルカーに乗って、未だ色鮮やかな紫陽花を見ながら六甲山上駅に降りると、ヒヤッとした空気と一面に白い霧が立ち込めていました。

霧の中を、六甲山ビジターセンターまで歩き、そこで昼食。昼食後には天気も回復し、少し蒸し暑さも感じてきました。

六甲高山植物園では、ガイドによる案内で今が見頃の植物を観察し、牧野富太郎博士の精緻な「大日本植物誌」も見ることが出来ました。

日 時 2024年7月19日(金) 10:30 参加人数 52名

集合場所 六甲山上駅 天気 霧後晴れ

行 程 六甲山上駅→六甲山ビジターセンター(班長会議・昼食)→六甲山高山植物園(ガイド2名の案内)→徒歩組とバス組に分かれて六甲山上駅で解散15時

六甲山上駅から六甲高山植物園までの植物観察

エノキグサ、クサフジウツギ、ウマノミツバ、ネム、ダイコンソウ、キツリフネ、メヤブマオ、ハエドクソウ、ゲンノショウコ、マムシグサ、ツタバウンラン、ミヤマトウバナ、ヤマホタルブクロ、ネジバナ、ヒメジョオン、ヤブカンゾウ、ニッコウキスゲ、コアジサイ、シモツケ、ヒヨドリバナ他

六甲高山植物園で見られた見頃の植物(ガイドの案内による)

ユウスゲ、チダケサシ、コオニユリ、ヤマユリ、ハンゲショウ、キレンゲショウマ、キキョウ、ニッコウキスゲ、フシグロセンノウ、サラセニア、クサレダマ、ナツツバキ他

所感

今が盛りのニッコウキスゲの群生とカサブランカの元になった美しいヤマユリに感激。

キレンゲショウマの花は、チラホラ咲きで可憐な蕾がいっぱい。満開迄あと少し。

山鳥の姿を見られた方は、ラッキーでした。

牧野富太郎博士の実物の「大日本植物誌」を見て、その精緻さに感動。



ヤマユリとオオバギボウシ



山鳥



キレンゲショウマ